

QCサークル活動で培ったチームワークを生かし 品質重視のものづくりに邁進。



1 精密な電子部品を顕微鏡で検査する製造設備オペレーター
2 総務班長の木戸政夫さん。外国人スタッフを含む従業員が働きやすい職場環境を整える
3 外国人の採用にも積極的。写真はフィリピンから来ている技能実習生の女性たち

電子部品で安全な暮らしを支える。

携帯電話や自動車に組み込まれている多種多様な電子部品。共栄電子では、これらを製造する大手電機メーカーの業務を請け負い、電子部品の組み立てや、完成した部品の検査を行っています。また、2017年からは自社事業として商品搬送設備の設計・組立を開始。これら事業の発展のために、CADエンジニア関連の検定など、資格取得の援助を行っています。

製品の品質を高めているのは、社員がチームで取り組む「QC（クオリティー・コントロール）サークル活動」です。社員自らが作業方法や環境の改善を進めることが製品の品質向上につながっています。

「越前柿」の栽培と販売を本格化。

近年開始したのが、あわら市の特産品「越前柿」の生産と販売です。「アグリ事業部」を立ち上げ、2019年にはネット販売もスタート。社長の「鶴の一声」で始まった異業種展開は、地域のPRにも一役買っています。

社員も管理職も若い人が多く、気軽に質問や相談ができる雰囲気の中で、時間外労働の削減や年次有給休暇の取得を推進。一人当たりの年間平均取得日数が14.6日まで伸びたほか、男性の育児休暇も奨励され、2019年には2人が取得しています。働き方における新たな取り組みが広がっています。



共栄電子 のすごいところ

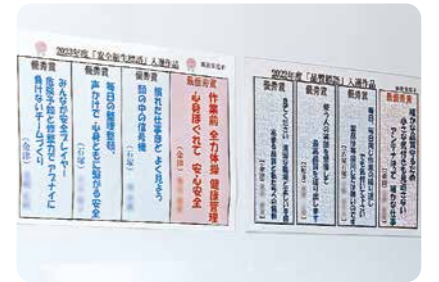
Q 会社の自慢を教えてください！

A 社員がチームを組んで業務改善に取り組む「QCサークル活動」が活発です。毎年12月頃に約10人でチームを組み、持ち寄った課題の中から取り組むテーマを決定。アイデアを出し合って改善計画を立て、7月頃に最終報告を行います。高評価だったチームがQCサークル北陸支部福井地区大会に出場。2016年の福井地区大会では「福井県知事賞」と「感動賞」を受賞しています。



Q この先、目指していることは？

A 顧客からの信頼を重ねていくために、社員一人一人に品質向上について考えてもらおうと「品質標語」や「安全衛生標語」を募集し、入選作を社内に掲示しています。このような電子部品製造での努力に加え、自社で新たな機械を設計・製造する共栄電子ならではのものづくりの推進も検討しています。



みました。

聞いて

気になること、

Q 仕事にはどんな人を求めていますか？

A 共栄電子の業務の中心は電子部品の検査で、極小の部品を一つ一つ顕微鏡で確認していく根気のいる仕事です。一つのこと黙々と打ち込めるタイプの人が向いていると思います。

Q 就活中の皆さんにメッセージをお願いします。

A 仕事とプライベートの両面で目標を持つことが仕事を続ける励みになります。「貯金をして車を買いたい」でもOK。何事も失敗を恐れずチャレンジしてください。



総務班長
木戸 政夫さん

こんな職場です

「あわら市の越前柿」を
日本全国にPR。



近年「アグリ事業部」を立ち上げ、あわら市の特産品「越前柿」の生産と販売をスタート。たゆまぬ努力により毎年「過去最高」を更新し、あわら市のふるさと納税返礼品として日本全国にPRしています。



株式会社 共栄電子

〒919-0602 あわら市菅野70-1-18
TEL.0776-73-3728 FAX.0776-73-4401
<https://www.kyoei-fukui.jp/> ☑ m-kido@kyoei-fukui.jp

設立:1975年/代表:代表取締役社長 水野 肇/資本金:1,000万円/従業員数:178人/平均年齢:47.5歳/勤務地:あわら市/勤務時間 8:30~17:00/福利厚生:社保完備、資格取得支援

公式WEBサイト

